

令和7年度 評価項目の達成及び取組状況

西野幼稚園

分野	評価項目	評価の着眼点	自己評価		学校関係者評価	評価結果を踏まえた今後の取り組み
			達成及び取組状況 達成及び取組状況をふまえ、成果と課題等を明らかにし自己評価する。その際、必要に応じ、保護者アンケートの結果も含める。	評価 評価基準により段階評価を行う。		
教育課程・指導	①学年・学級経営	教職員は、教育目標の達成を目指した学級経営を行っているか。	幼稚園の教育目標について共通理解し、各クラスの発達に応じた学級経営案を作成し実践している。毎月指導計画を作成し、『計画・実践・反省』を繰り返す中で、教育目標の達成に努力している。	4	4	○園経営の共有と各学年の発達を踏まえた学級経営の推進を継続していく。
	②幼児理解	教職員は、一人一人の幼児の発達の姿から課題を捉えて保育を行っているか。	定期的に職員会議を設け、複数の職員で話し合うことで、一人一人の幼児理解、多面的理解につなげている。また、園内研修会に小学校や幼児教育施設からも参加してもらったり、指導員を招いたりしたことが幼児理解につながっている。	4	4	○幼児一人一人を多面的に理解するための話し合いを継続し、職員の資質向上、園内研究会等の充実にも努める。
	③特別支援教育	特別な支援を必要とする幼児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。	一人一人の成長と課題を明確にすることで、支援につなげている。家庭や専門機関との連携を密にすることで、共に成長を支えることに努めている。定期的に市の巡回相談を受け、適切な援助に生かしている。	4	4	○一人一人の特性等を的確に踏まえ、職員間で幼児理解に努めたり、専門機関との連携を図ることで、保育、援助につなげていく。
	④人権・同和教育	教職員は、自らの人権感覚を磨き、幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。	同和教育を基底に据えた教育を心がけ、日々の生活の場面を捉えた指導を行っている。教職員の人権感覚を磨くために、市が開催する研修会に積極的に参加することで、職員の人権感覚の向上に努めている。	3	4	○教師自ら人権感覚を磨く努力を行いながら、幼児との生活を進め、日々の幼児の言動に気持ちを寄せ、丁寧な関わりに務める。
	⑤行事	教職員は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、工夫、改善しているか。	学年ごとに『ねらい』を明確にし、行事に向かう課程を大切に経験が積み重ねられるようにしている。また、地域探検や地域の教育力を活かした内容にすることで、子どもたちにとって豊かな経験となっている。	4	4	○行事に向かう中で大切に育みたいものを学年や個人に応じて明確にし、職員間で共有、共通理解して進めていく。
	⑥保幼小連携	近隣の小学校等との連携を密にし、なめらかな接続に努めているか。	保育公開や行事、園内研究会などへの参加により、幼児教育と小学校教育のつながりについて、共に学ぶ機会となった。幼児期の遊び（学び）が小学校以降の学びにつながるこの理解推進となり、連携を深めることとなった。	4	4	○幼小が互いに保育や授業参観、行事等の参加や見学をしたり、連絡会で情報共有や意見交換等することで連携していく。また接続期カリキュラム作成を意識した話し合いにしていく。
家庭・地域との連携	⑦家庭・地域との連携	幼稚園と保護者、幼稚園と地域（未就園児等）との協力関係はできているか。	保護者は、保育公開や行事、環境整備への参加率も高く、幼稚園に対して理解があり協力的である。地域の関係諸機関との連携がスムーズで、教育活動に対して、計画的、継続的に協力していただける体制ができている。	3	3	○地域との連携はとてもよい状況であり、今後も連携しながら教育力向上に努めていく。家庭内でのしつけに関して保護者の関心が高まるよう啓発していく。
研修	⑧研究・研修	教職員一人一人が、園内外の研究・研修の機会を自己研鑽の場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。	島根県主催の研修会で西野の取組を発表したり、11日目研修を迎える職員に合わせ、全クラスが保育を公開し保育研究会を行ったことで、市内幼稚園職員や小学校、幼児教育施設、行政と共に、教師の資質・向上に向けた取組をすることができた。職員一人一人が課題をもって取り組むことができた。	4	4	○引き続き研究推進に努め、積極的な研究会の開催や地域の教育施設との連携を進めていく。
組織運営	⑨園務	教職員は、他教職員と協働し、計画的に園務を遂行しているか。	自分の分掌に自覚と責任を持ちながら、気が付いたことを伝え合ったり、協力して作業したりするなど、職員間で協力して行っている。	3	4	○引き続き職員間での協力・連携を図り業務のスムーズな遂行に努める。
安全管理・保健管理	⑩危機管理	園の危機管理及び幼児の安全や衛生の管理体制を全教職員が理解し、適切な対応に努めているか。	保護者への緊急連絡は、マ・メールでの一斉配信を利用している。避難訓練に併せて、保護者のメール確認事項を追加し、保護者へ啓発している。また、1月に防犯カメラが設置され、安全・防犯管理が向上した。	3	4	○引き続き職員が安全管理・危機管理の意識を高く持たせていく。
教育環境整備	⑪園地・園舎・遊具等の施設・整備	園地・園舎・遊具等の施設・設備を定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。	毎月、安全点検を行っている。長い間要望していた遊戯室の床の修繕を行うことになり、年度内に完了する。幼稚園内外の環境整備については、地域ボランティアや保護者の協力を得ている。	3	3	○毎月の点検を継続し、安心できる環境にしていく。保護者や地域の方の力を借りて環境整備に努め、必要に応じて施設修繕要望等行っていく。

※評価基準 4：十分達成している 3：概ね達成している 2：改善を要する部分がある 1：大いに改善を要する